

 市議会だより

# いわくら

令和4年

2022.5月号

No.234

編集 議会広報委員会  
発行 岩倉市議会  
〒482-8686  
岩倉市栄町一丁目66番地  
TEL 0587-38-5820議会直通  
FAX 0587-66-0055

「今年も桜祭りが中止で寂しいですが、みんなでコロナ禍を乗り越えましょう！」  
※表紙の写真は市内在住の水野あゆみさんよりご提供いただきました。

## 主 な 内 容

### ☆ 3月定例会概要

「過去最大の新年度予算」

2～5

☆ 施政方針に対する代表質問・委員会代表質問・一般質問

8～21

☆ 【議会活動報告】意見募集を行いました！

22～23



投票率の向上

靴を脱いで投票する投票所が2カ所あるが、改善の方向性はどうか。

上投票所(大上市会場館)については、新設する岩倉北小学校の屋内運動場等複合施設に移行が可能かどうか検討する。

議会から投票率向上に向けた取組の提案をしてきたが、今回の予算に反映されていない。どのように議論されてきたのか。

商業施設での期日前投票所の設置等については、施設側の事情もあり、実現に至っていない。投票者と一緒に来た子どもに対する取組については、実施を予定していたが、コロナ禍で投票所内が密となることを防ぐため見送った。

基幹相談支援センターの設置

コロナ禍で相談室の狭さが課題となっているが、具体的な相談室の改修工事スケジュールは。

令和4年度早々に庁舎2階北西談話スペースを相談室として利用可能にする。1階の相談室を事務所とする改修工事は12月頃から行い、年明けに完成できたらと考えている。

老人クラブの現状は

老人クラブの人数が減少傾向にあるとのことだが、コロナ禍の影響や今後の支援についてどのように考えているのか。

コロナ禍で大きな事業を中止することとなったが、感染防止策を徹底し、活動は継続しているため影響はあまりないと見ている。市の広報でも老人クラブの活

動紹介や会員募集の記事を掲載するなど連携してPRに努めている。

老人クラブという名称に入会をためらう人もいるのでは。

単体クラブでいうわ会という名称を使っているクラブもあり、名称については各クラブの意見を踏まえながら相談する。県では愛知県老人クラブという名称を使っているため、一般的には老人クラブという名称を使っている。

五条川小学校区 統合保育園

基本構想・基本設計業務の委託業者の選定はプロポーザルで実施することだが、設計会社を中心に行うのか。基本構想の内容は施設のことだけでなく、保育の内容もあるが、そういった点も設計会社だけで良いか。

設計会社を中心にプロポーザルを行う。基本構想にはどのような保育園を作るかということもあり、設備の内容にかかるところもある。また、検討委員会を実施していく中で運営支援という点も仕様を含めプロポーザルを行う。

※プロポーザルとは、複数の者に目的に対する企画を提案してもらい、その中から優れた提案を選定すること。

待機児童の現状は

現時点で待機児童はいないというのとで良いか。

令和4年3月10日で令和4年度の当初の申込受付は完了している。求職活動中で入園できないケースもあるが、保育の必要がある家庭では待機児童は出ていない。

子宮頸がんワクチンの接種

子宮頸がんワクチンの接種勧奨が再開されるが、健康被害の救済についてはどのようなになっているのか。

接種をした医療機関の接種医の判断で副反応報告を出すほか、家族から健康被害を申請したいと申し出があれば、市で委員会を開催し、県に資料を提出し、因果関係について審議される。

ごみ収集容器の配付

各区に1個だけの配付なのか、今後の配付の方向性や方針は。

今回は、試行的に各区に1個配付して、意見を出してもらうことが目的。有効性が確認できれば、購入補助、配付などを検討する。

ごみ収集容器の大きさは1種類のみなのか。

大きさの異なる2種類を検討しており、第1回の区長会で実物を見ていただいで、選定していただくと考えている。



ごみ収集容器

環境に配慮した 害虫駆除

ジャンボタニシの駆除については、

昨年、薬を使わずに捕獲するトラップを作ったと報告があったが、担当課としての取組、農事組合との関わりなどどのように進んでいるのか。

稲づくり農業体験事業の中でトラップを使った取組が農業新聞に取り上げられた。環

境に配慮した駆除の手法は農家も関心が高いと感じており、農業委員会で取組を紹介したほか、農事組合を通じたトラップの紹介も考えている。

桜並木保全事業

Q 植え替えの本数が5本では少ないのではないか。まとまった予算で植え替えを行うべきでは。

A 大々的に植え替えを進めるという考え方もあるが、今ある桜を保全していくという考え方もある。また、日ごろから保全活動に尽力していただいている保存会の皆さんの考えもある。老朽化した桜を伐採する中で、桜の適正な間隔を意識しつつ植え替えを進めていきたい。

感染症対策設備導入支援補助金

Q 新年度予算には計上されていないが、

令和3年度の補助金の実績は。市内の要望を満たしているのか。

A 150件を超える申請があり、飲食業、製造業など様々な事業者の利用があった。対象期間を2月末までと長く取っており、必要な事業者に行き渡ったと考えている。

スマートインターチェンジ設置検討

Q 尾張一宮パーキングエリアに設置するならば、費用も安くするのは。付近のアクセス道路整備の検討も含まれるのか。

A 設置位置は交通量の推計などを行い、検討する。仮に尾張一宮パーキングエリアに設置するとすれば、周辺道路の実情も踏まえ、アクセス道路の位置や接続する幹線道路を検討する。

Q スマートインターチェンジの設置について、近隣の事業者は

意向確認は行ったのか。近隣に立地している製造業、運送業、14社に意向確認を行った。全ての会社が高速道路を利用している訳ではないが、小牧IC、一宮ICを利用している会社にとっては利便性が高くなるという意見があった。

Q 設置候補地に岩倉市北部は含まれるのか。また、設置位置が決まれば費用等も決まると考えられるが、費用が決まる時期など今後のスケジュールは。

A 設置候補地の中には岩倉市北部も含まれる。また、令和4年度の委託業務は、設置箇所と周辺道路の位置等の検討で、年度末までに検討結果が提出されることになる。整備費用については令和5年度以降に示す予定である。

桜並木街路改良事業

Q 予算に工事請負費が計上されており、部分的に工事を進めるということだと考えられるが、工事を行う区間とスケジュールはどのようか。

A 岩倉街道から西側の区間において、電線を地中化していく予定である。工事時期については、地下水位が下がる秋以降に実施したいと考えている。

公共施設のAED設置

Q 設置済みの25カ所のうち13カ所が屋内に設置されているが、市民の使いやすさを考えれば屋外の設置が望ましいと考える。今後の設置場所の方向性は。

A 屋内に設置しているAEDについては、更新の際に改めて設置位置を検討していく。



市役所玄関に設置されたAED

水泳指導の民間委託

Q 五条川小学校のプールに漏水があり、令和4年度から水泳指導が民間委託されることだが、漏水の原因と民間委託に至る経緯はどのようか。

A 業者に確認したところ防水シートに亀裂があり漏水している可能性があるとのことであった。民間委託に際しては、今後の修繕費、水道料金等を検討したところ指導を民間委託したほうが安価であること、教員の負担緩和、専門的指導が受けられる点を考慮し、民間委託することにした。

タブレット端末の修繕

Q 令和3年度の児童・生徒に貸与されているタブレットの修繕の状況はどのようか。また、タブレットの修繕費は市で負担するのか。

A 令和4年2月時点で、小学校で15件あり、机からの落下などによる画面のひび割れが多かった。また、持ち帰りで画面ひび割れの修繕が小学校で1件あった。持ち帰った際の破損による修繕費は保護者負担としており、この1件については保護者に負担して

いただいた。



### 令和3年度補正予算

#### 夏休み中のプール開放

**Q** 今後の夏休みのプール開放の在り方は。教育委員会だけの判断ではなく、子どもたちの声も聞きながら判断すべきでは。

**A** 令和2年度から、炎天下での登下校への懸念から教育委員会への判断として、プール開放を中止している。子どもや保護者の意見を聞けるように努めていきたい。

### その他の議案

#### 機能別消防団員の募集

**Q** 今回は12名程度募集するということが、今後どういった形でこの団員を募集していくのか。公募について考えがあるのか。

**A** まずは機能別団員の活動内容について、市民に知っていただくことが最優先と考えている。活動状況を見ながら、増員方法について消防団幹部とも検討していきたい。

#### 統合保育園基本構想

**Q** 基本構想の具体的な内容は。

**A** 新しい保育園の運営をどのような形でを行うのか、公立とする

※機能別消防団員とは、市が定める特定の消防団活動にのみ従事する団員のこと。

のか民営とするのか。また、保育園2つと児童発達支援施設あゆみの家を統合するというところで、設備内容などを市民の皆さんの意見、先進自治体の事例も研究しながら検討する。

**Q** 当局が示した案だが、あゆみの家もその場所が良いのか。

**A** あゆみの家の保護者からは、公共交通機関が近くにあると良いという意見もあり、石仏駅に近い場所を選定した。また、駐車場の整備は必須と考えている。

### 令和4年度補正予算

#### 高齢者に交通系ICカードを配付

**Q** ICカードの使い方資料の作成について予算計上されているが、どのような内容か。

**A** 対象が75歳以上というところで、文字数を少なくし、チャージできる場所や交通機関で使うときの使い方も写真入りで説明するなど分かりやすく作成する。

**Q** 既に交通系ICカードを持っている人への対応は。

**A** 今回のICカードの配付については、キャッシュレス化と同時に生活支援という目的もあるので既に持っている人にも配付する。

### プレミアム商品券事業

**Q** 前回3万セットを販売し、約2万6千セットの売上実績があった。今回は、3万6千セット販売することだが、売り切るために前回からの変更点はあるのか。

**A** 前回は、3万6千セットの売上実績があった。今回は、3万6千セット販売することだが、売り切るために前回からの変更点はあるのか。

**A** 1人2セットまでの限度を、19歳から24歳の人は、4セットまで購入可能とし、使用期間も前回より2週間程度長く設定している。また、商工会と協力をしながら、前回より多くの店舗で商品券が使えるようにしていきたいと考えている。

**Q** 予約はいつから受け付けるのか。また、予約販売後の追加販売は検討しているのか。

**A** 6月1日から2週間程度を予約の受付期間として予定している。追加の一般販売については、現在のところは考えていない。

**人事案件として次の方が議会で同意されました**

- ★岩倉市教育委員会委員・・・押谷 誠氏(市内在住)(再任)
- ★岩倉市公平委員会委員・・・櫻井 錦一氏(市内在住)(再任)
- ★岩倉市固定資産評価審査委員会委員・・・松浦 代助氏(市内在住)(再任)

## 【今回の定例会の議案等の審議結果】

議案等の  
詳細はこちら▼



審議結果の  
詳細はこちら▼



### 市長提出議案

#### 人事案件

5ページに記載

#### 条例制定・一部改正等

○第7号 岩倉市五条川小学校区統合保育園検討委員会条例の制定について

他12件

#### 令和3年度補正予算

○第2号 令和3年度岩倉市一般会計補正予算(第12号)

他4件

#### 令和4年度予算

○第22号 令和4年度岩倉市一般会計予算

他6件

#### 令和4年度補正予算

○第34号 令和4年度岩倉市一般会計補正予算(第1号)

#### その他

○第3号 岩倉北小学校屋内運動場等複合施設建設工事請負契約の変更について

他3件

### 決議案

○第1号 ロシアによるウクライナ侵攻に強く抗議し、恒久平和を求める決議

※上記の議案は全員賛成で同意または可決されました。

### 請願

○第1号 5歳～11歳の新型コロナワクチン接種に関して接種のメリットとデメリットに十分配慮した情報の広報を求める請願…不採択

## 賛否が分かれた議案等

※伊藤隆信議員は議長なので採決に加わらない。(可否同数の場合を除く)

(賛成は○ 反対は×)

議会番号	件名	審議結果	梅村均	片岡健一郎	鬼頭博和	谷平敬子	水野忠三	大野慎治	黒川武	宮川隆	須藤智子	井上真砂美	伊藤隆信	関戸郁文	堀巖	木村冬樹	榎谷規子
議案第26号	令和4年度岩倉市後期高齢者医療特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×
請願第1号	5歳～11歳の新型コロナワクチン接種に関して接種のメリットとデメリットに十分配慮した情報の広報を求める請願	不採択	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×

## 【1月臨時会の概要】

令和4年1月21日に臨時会が開催されました。令和3年度岩倉市一般会計補正予算(第11号)の議案が上程され、全員賛成で可決されました。補正予算の内容は次のとおりです。

○子育て世帯への臨時特別給付金支給事業

議案等はこちらのページから→



## 3月定例会の主な討論（要旨）

議案第26号 令和4年度岩倉市後期高齢者医療特別会計  
予算

## 反対討論

木村 冬樹 議員  
(日本共産党)

反対理由の1点目は、2年に1回の見直しにより保険料が改定され、低所得層の保険料が値上げになることである。

愛知県後期高齢者医療広域連合の令和4年度から2年間の保険料は、均等割額が633円引き上げられることにより、低所得層の保険料が値上げとなる。所得割率を少し見直すだけで、低所得層の負担増は回避できた。

反対理由の2点目は、今年10月から一定所得以上の方の医療費窓口負担が1割から2割に引き上げられることである。

昨年6月の法改正により、年収200万円以上の方、全国で後期高齢者の約20%、約370万人が2割となる。今回の予算にはその影響も含まれたものになっている。

今回の岩倉市の予算対応については法律に従うもので仕方がないのかもしれないが、これらの負担増を含むものであり、政府と広域連合のやり方を容認することはできない。

以上の理由により、この議案第26号については反対とする。

## 賛成討論

関戸 郁文 議員  
(創政会)

後期高齢者医療制度は、今後益々、医療費の増大が見込まれる。後期高齢者の医療費のうち、約4割は子や孫などの現役世代が負担する後期高齢者支援金であり、現役世代の負担を抑えることが重要な課題とされている。

今回の医療費窓口負担割合の見直しは、後期高齢者のうち、一定以上の所得がある方の負担割合を2割とすることで現役世代の負担を抑え、全ての世代が安心できる社会保障制度を構築することを目的としている。また、外来患者の一月あたりの負担額を抑える配慮措置も実施されている。加えて、コロナ禍による被保険者の所得水準の低下にも配慮し、余剰金を活用して保険料の増加を抑制している。

後期高齢者医療特別会計は、県下の全市町村が参加する愛知県後期高齢者医療広域連合が、制度を安定的に運用できるよう、各市町村に適切に財源負担を求めたものでその積算内容は正しいと考える。

以上のことから議案第26号に賛成する。

ロシアによるウクライナ侵攻に強く抗議し、  
恒久平和を求める決議

世界中が新型コロナウイルス感染症への対応に追われている最中、ロシアは、2月24日、国際社会の度重なる警告を無視し、ウクライナへの全面的な侵攻を開始した。さらにその後、民間人を含め多数の犠牲者を出し続けている。これは、明らかに国連憲章に違反し、世界の安全保障と国際秩序を脅かす侵略であり、核兵器の威力を背景に威嚇し、武力で侵略する行為は断じて容認できない暴挙である。

よって、本市議会は、ロシアによる攻撃とウクライナの主権侵害に強く抗議するとともに、ロシア政府に対し、武力行使の即時停止とウクライナ領土から直ちに全ての軍隊を完全に撤退させること及び誠実に国際法を遵守し、平和的に対応することを強く求める。

以上、決議する。

# 施政方針に対する代表質問 委員会代表質問&一般質問

3月定例会では、市長の施政方針に対して、各党派の代表者が質問を行う代表質問、総務・産業建設常任委員会が政策提言に向けて委員会代表質問、議員が自身の考えや市民の皆様の声をもとに、市政全般について質問する一般質問が行われました。

なお、9～21ページは本人が責任をもって編集した要約原稿です。詳しくお知りになりたい方は、議会動画配信、市議会議事録をご覧ください。

※議事録は5月下旬ごろからご覧いただけます。

## 3月2日(水) 施政方針に対する代表質問

- 1 梅村 均 (P.9) 「がん患者用ウィッグ等購入支援の考えは」
- 2 宮川 隆 (P.10) 「プレミアム商品券の効果は」
- 3 榊谷 規子 (P.11) 「公立保育園適正配置方針は見直すべき」
- 4 鬼頭 博和 (P.12) 「庁舎等の照明は早急にLED化するべきでは」

動画はこちら▼



## 3月8日(火) 委員会代表質問

動画はこちら▶

- 1 片岡健一郎 (P.13) 「食品ロス削減に関する協定を結んではどうか」



## 3月8日(火) 一般質問

- 1 堀 巖 (P.14) 「不当要求行為対策要綱の条例化を」
- 2 木村 冬樹 (P.15) 「無料低額診療事業を紹介しているか」
- 3 黒川 武 (P.16) 「賃上げを助成してはどうか」
- 4 井上真砂美 (P.17) 「五条川小学校区統合保育園構想は」

動画はこちら▼



## 3月9日(水) 一般質問

- 1 谷平 敬子 (P.18) 「災害用授乳服を災害用備蓄品に！」
- 2 水野 忠三 (P.19) 「今後のデジタル化のさらなる推進は」
- 3 大野 慎治 (P.20) 「東町休憩所公衆トイレはリフォームが必要では」
- 4 関戸 郁文 (P.21) 「デジタル社会を見据えた学校教育とは」

動画はこちら▼





創 政 会  
梅 村 均 議 員

## Q がん患者用ウィッグ等購入支援の考えは

### A 6月補正予算で対応できるよう進める

国の方針を勘案して、4億5千万円の大幅な減少を見込んでいる。その一方で、地方交付税と市税を合わせて5億9千万円の増を見込んでおり、臨時財政対策債の減少に対する財源という意味では、

**Q** 抑制等が明記されている。本市において標準的なサービスが提供できなくなるなど、影響をどう考えているか。

**Q** 臨時財政対策債抑制の影響

**A** がん治療を受けた方が安心して社会生活が送れるように支援するため6月補正予算で対応できるよう準備を進める。

**Q** 県予算案では、これらの購入の際に費用の一部を補助する市町村に対し財政支援の考えを示している。有効な支援制度であると思うが、導入の考えは。

必要な財源は十分確保できるものと考えている。

**A** 市内15医療機関の協力を得て実施している。接種率は2月24日現在の数値で全国17.4%、県18.7%を上回る28.9%となっている。今後も対象者への接種券発送を順次行い、希望される方が速やかに接種できるよう努めていきたい。また、5歳から11歳までの小児の接種については、努力義務の対象とはされないこととなったので、ワクチンの効果と副反応のリスクの双方について正しく理解した上で判断し

**Q** 3回目の接種も始まっている中、体制づくり、進め方は。また5歳から11歳までの接種は慎重でなければならぬと思うがどう捉えているか。

**Q** ワクチン接種の今後の進め方

でもらうために、リーフレットを配布するなど情報提供に努めたい。



拡張して仮称にぎわい広場を検討するお祭り広場

**Q** 仮称にぎわい広場の整備

**Q** この広場の基本構想策定については、岩倉駅東地区においてにぎわいを取り戻すべく期待をしているが、住民への理解・説明が必要である。にぎわい創出において、例えば、五条川も活かしたお洒落な水辺空間のある広場、市のイベントが定期的に行きやすいような広場、日常的に子どもたちが駆け回

**Q** 仮称にぎわい広場の整備

**A** 仮称にぎわい広場において同様に策定以降の設計の実施に当たっては、市民の皆様のご理解とご協力は不可欠なので、商工会や駅周辺の関係者はもちろんのこと、ワークショップなどを開催し広く市民の皆様のご意見、アイデアをいただきながら本市の特性を生かしたものであるように検討していく。

ような広場、デートスポットとなるような「映える」広場など想像するが、目指すべき姿は。

**Q** 仮称にぎわい広場の整備

**A** 令和4年度から部分的な工事に順次着手する予定としている。事業認可期間

**Q** 仮称にぎわい広場の整備

**A** 令和8年度末までとなっているが、現時点での用地買収率は約60%である。権利者のご意向を尊重しながら滞りなく推進し、早期供用開始を目指したい。

**Q** 仮称にぎわい広場の整備

**Q** 仮称にぎわい広場の整備

**A** 仮称にぎわい広場の整備

**Q** 仮称にぎわい広場の整備

**A** 仮称にぎわい広場の整備

**Q** 仮称にぎわい広場の整備



大志 クラ 議員  
宮川 隆

Q プレミアム商品券の効果は

A 約6割の方が「満足・良いことだと思う」

Q コロナ禍にあって、地域経済の活性化・生活支援の目的で、「プレミアム商品券発行事業」が行われたが、さらに発展させ次につなげる必要を感じる。どのような効果が得られたのか。

A コロナ禍にあって、市ブロックの世代が75歳以上の後援策では商品券事業が一番高い評価をいただいた。0年には、団体ジュニアはこの結果も含め商品券事業は、地域経済の活性化・市民の生活支援として効果があつたと判断している。

塊の世代が75歳以上の後援策では商品券事業が一番高い評価をいただいた。0年には、団体ジュニア世代が65歳以上の高齢者となることから、第8期高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画においては、高齢化率が29・8%にまで増加すると推計して、医療や介護の需要も増加していくと見込んでいます。そのような状況を見据え、地域包括ケアシステムの構築を目指し高齢者を支えるサービス基盤や人的基盤の整備を進めており、関係機関等との連携と地域の支え合いにより解決する仕組みづくりを進めてきた。また、運動能力や認知機能など心身の活力が低下した虚弱な状態となる「フレイル」対策を重点課題に掲げ、高齢者の通いの場と

なるサロン活動の支援や、シルバーリハビリ体操の普及促進などをはじめとした介護予防事業に力を入れている。今後こうした取組は、健康寿命の延伸につながり、ひいては扶助費等関係予算の上昇の抑制にもつながると考えている。

A 基幹相談支援センターの人員体制については、4人の職員の配置を想定しており、相談支援専門員、社会福祉士、精神保健福祉士等の専門職で、そのうち2人を専任の正規職員、2人を専任の非常勤職員として配置することで障がい者相談支援体制の充実を図る。

A プレミアム商品券は、市内で2億円近い消費が生まれており、商品券をきっかけとした消費も見込まれることから、市内の幅広い売上向上とともに、経済効果があつたと考えている。また、今回はプレミアム率も50%と高く、生活支援にもつながつたと考えている。市民を対象に行つたアンケートでは、約6割の方から「満足・良いことだと思う」という回答を得られた。商工会が行つた事業所向けアンケート

Q 高齢人口の増加に比例して扶助費の予算が右肩上がりになっている。限られた予算の中で財政を圧迫し、硬直化を招くことが懸念されるが、上昇率の抑制につながるための将来展望・対策はあるのか。

A 本市の65歳以上の高齢者数は、令和4年1月末で1万2212人となっており、高齢化率は25・5%となっている。2025年には団

障がい者や家族が社会に溶け込み自立した生活を送れるように必要な援助や情報提供を行う、障がい者相談支援施設や団体の中核的な役割を担う機関として設置すると聞いている。その内容は。

Q 以前、小中学校のプール整備について、温水プール化などの質問を行い、一定の方針が示されているが、今後この方針が進められていくのか。

A 東小・北小に続き五条川小学校のプールについても、漏水していることが判明し、改

Q 扶助費抑制策はあるか

A 東小・北小に続き五条川小学校のプールについても、漏水していることが判明し、改

※一部ではあるが市民プールの復活要望がある。全市民の健康増進と高齢化社会における医療やリハビリ施設等との共同利用も含めて、教育ことも未来部の枠を超えた視点で市長には考慮していただきたい。(要望)

Q 学校プールの今後

計11項目について市長の施政方針を確認した。

計11項目について市長の施政方針を確認した。

Q 学校プールの今後

計11項目について市長の施政方針を確認した。



日本共産党岩倉市議員  
榎谷規子議員

## Q 公立保育園適正配置方針は見直すべき

### A 見直しは考えていない

高齢者の生活をどう守っていくのか

軍事費は6兆円を越えた一方で、社会保障費自然増の圧縮という国の予算。10月から一定所得以上の後期高齢者医療の窓口負担が1割から2割と2倍に。また、後期高齢者医療保険料の均等割が引き上げられ、均等割のみの低所得者は値上げになる。年金の支給額も減らされる中、食品等も値上げラッシュ。市長は、このような状況の中で、高齢者の生活をどう守っていく考えか。

とすることで、すべての世代が安心できる社会保障制度を構築することを目的としている。

**Q** 五条川小学校区統合保育園はどうあるべきか

**Q** 今回の意見募集は「建設候補地域の選定について」だけのものだったが、その結果はどうだったか。基本構想を話し合う検討委員会を設置し、4回の開催で予算化されているが、基本構想策定の際には、市民参加機会は予定されているのか。

**A** 団塊の世代が後期高齢者となり、今後ますます医療費が増加する。後期高齢者の医療費のうち、約4割は現役世代が負担する支援金で、その負担を抑えることも重要な課題。医療費の窓口負担の見直しは、一定以上の所得がある方の負担割合を2割

建設候補地域について、名神高速道路の北側でいいのか。仙奈保育園周辺の市民、また、あゆみの家の利用者

をどう考えるのか。車に乗れる保護者ばかりではない。石仏駅に近いが、電車利用の通園は大変ではないか。また、公共施設再配置計画、公立保育園適正配置方針に基づく統合保育園という計画だが、これらの計画はコロナ前に作られたものである。コロナを経験した保育園は小規模で地域に数多くあるべきではないか。公立保育園適正配置方針の見直しが必要と考えるが。

井上町地区を選定した。北部に位置することとなるが、市全域を一つの利用圏域として、公私連携を活かしながら進めていく。

で井上町地区を選定した。北部に位置することとなるが、市全域を一つの利用圏域として、公私連携を活かしながら進めていく。

**Q** コロナ禍で丸2年、マスクの学校生活で行事も縮小や中止。大人の1年、2年と違い、子どもたちの1年、2年は、その発達年齢でこそ経験し得る重みは大きい。だからこそ、ひとりひとりの子どもたちを大切にすることを大切にしたい。五

水泳指導における民間の温水プール

岩倉東小学校での民間プールを活用しての水泳授業は、約9割の児童が「楽しかった」「水泳が好きになった」と答え、岩倉北小学校では、保護者のアンケートで約6割が「民間施設の活用を検討してほしい」と答えている。五



公立保育園適正配置方針は、平成28年度に策定した公共施設再配置計画に反映するものとして定めており、見直しは考えていない。建設候補地域は、立地条件、周辺環境など6分野、11項目の評価基準を定めて、総合的な判断

県の方針どおり、令和4年度は4年生までを35人学級の対象とする。一層の加速は難しい。



党員 議員 明和 公鬼 頭博

Q

庁舎等の照明は早急にLED化するべきでは

A 照明のLED化は早期の対応が必要と考えている

コロナ禍でも50周年記念事業の開催を

Q

ナウイルス感染症拡大のため、市制50周年記念事業の多くが中止となった。しかし、本年11月末までを50周年として、昨年行えなかった事業が予定されている。本年は、コロナ禍により、これまでもどおりに行えない場合には、代替え措置をとってイベントを行ってはどうか。

A 昨年は、新型コロナナウイルス感染症拡大のため、市制50周年記念事業の多くが中止となった。しかし、本年11月末までを50周年として、昨年行えなかった事業が予定されている。本年は、コロナ禍により、これまでもどおりに行えない場合には、代替え措置をとってイベントを行ってはどうか。

Q

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、本市でも自宅療養者の割合が増加している。このような方々への支援については十分行われているのか。

A 新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、本市でも自宅療養者の割合が増加している。このような方々への支援については十分行われているのか。

A

市制50周年記念の事業期間は、これ以上の延長は難しいため、予定している事業は感染予防対策を行った上で、全て実施したいと考えている。しかし、新型コロナナウイルス感染症の感染状況等によっては、計画

A

厚接触者で、保健所から自宅療養や自宅待機を求められた人に食料品や日用品をお届けする生活支援事業及び買い物代行や市内医療機関で処方される薬の受け取り代行を行っている。実績と

Q

新型コロナウイルス感染症予防に効果のあるマスク着用は大変重要であるが、さまざまな理由でマスク着用ができない方もいる。そのような方への配慮として、多くの自治体が行っているような市のホームページでの啓発や、マスクができない意思表示カードの配布はできないか。

A 新型コロナウイルス感染症予防に効果のあるマスク着用は大変重要であるが、さまざまな理由でマスク着用ができない方もいる。そのような方への配慮として、多くの自治体が行っているような市のホームページでの啓発や、マスクができない意思表示カードの配布はできないか。

A

病気や障がいなどにより、マスクを着けることが難しい方々がいることを周囲が理解し、お互いに安心して過

温室効果ガス削減に向けた取組は

Q

地球温暖化対策設備を備えた住宅の普及に向けて、家庭用エネルギー管理システム等の導入に対し引き続き補助を行っているが、現在行われているメニューのほかに電気自動車等充給設備など、愛知県が行っている補助メニューについて導入の検討はできないか。

A 地球温暖化対策設備を備えた住宅の普及に向けて、家庭用エネルギー管理システム等の導入に対し引き続き補助を行っているが、現在行われているメニューのほかに電気自動車等充給設備など、愛知県が行っている補助メニューについて導入の検討はできないか。



防災対策を推進する計画の策定を

Q

昨年の災害対策基本法改正では、災害時要配慮者支援に対する個別避難計画の作成が努力義務化された。要介護度が高く、支援者の支度の低い方から優先的に早期に作成していくべきではないか。

A 昨年の災害対策基本法改正では、災害時要配慮者支援に対する個別避難計画の作成が努力義務化された。要介護度が高く、支援者の支度の低い方から優先的に早期に作成していくべきではないか。

A

避難行動要支援者の命と暮らしを守ることをできるよう、個別避難計画の制度について周知を行う。地域の理解を深めるとともに、先進自治体の取組について研究し、より多くの方の個別避難計画を作成して、災害時に速やかに支援ができるよう努力する。

※ZEH(ゼッチ)とは、高効率な設備システムを導入した住宅で、年間のエネルギー消費量の収支をゼロとするもの。そのほか、19項目について質問した。



総務・産業建設常任委員会  
片岡健一郎議員

## Q 市内業者と食品ロス削減に関する協定を結んでは

### A 協定の締結の必要性も含め今後の課題として検討していく

#### 食品ロス削減の推進について

**Q** 家庭から出る生ごみの中で食品ロスが占める割合を把握することは可能か。

**A** ごみの内容物調査においては、食品ロスを調査項目には設けておらず、具体的な量は把握していない。しかし、その数量の把握は、今後の施策において重要と考えられるので、未開封の食品や食べ残し部などの選別などにより割合の把握ができれば検討したいと考えている。

**Q** 食品ロス削減については、市内事業者が一体となって協力しやすい環境を整備することが、まずは重要だと考える。そこで岩倉市と市内事業者との食品ロス削減に関する協定を結んではどうか。

**A** まずは、事業者等とどのような協力関係が築けるか、協定の締結の必要性も含め今後の課題として検討していきたい。



**Q** 食品ロス削減は、多面的な側面があり、現状を見ると、課の連携が十分とは言えないと考える。食品ロス削減推進の効果を最大限にするには、課の連携が重要である。推進に当たり、全庁的な体制を整備してはどうか。

**A** 食品ロス削減については、第2次環境基本計画においてもごみ減量に関する事業

の重要な課題であると考えているので、事業効果を上げるため、関連部署の相互の連携を図っていきたい。

#### ブランド野菜研究事業の推進について

**Q** 今後ブランド野菜研究事業のビジョンをもっと戦略的に分析して取り組む必要があると思うがどうか。

**A** 学校給食の食材として提供することにより、小中学校に通うお子さんとそのご家族にちっちゃい菜を知ってもらおうことを中心に、市内での知名度アップを目指してきた。しかし、ちっちゃい菜が本市のブランド野菜であると一定の認知はされているものの、広く定着しているとは言いきれない状況である。今後は生産者をはじめ、販路と

他の可能性のある飲食店などとも意見交換しながら、戦略的に取り組んでいきたいと考えている。

**Q** 今回、議会が市民の皆様に向け、ブランド野菜研究事業について意見を募集したところ、多くの意見と様々な提案を頂戴した。可能なものについては、今後の施策に検討していただきたいが、これらに対する当局の見解を問う。

**A** レシピコンクール、学校での教材としての栽培やポスターコンクールなど、今回、市民の皆様からちっちゃい菜の一層の推進のために貴重なご意見やご提案をいただいたことに感謝するとともに、そのご意見を参考にしながら新たな施策についても検討したい。

**Q** ブランド野菜研究事業に対する予算



新ブランド野菜のちっちゃい菜

額を増額して本事業に取り組みべきではないか。

**A** 生産者だけでは、難しい課題もあり、その解決のために、これまで関わってこなかった人々や団体の協力を仰ぎながら進める必要があると考えている。一層のブランド野菜の推進のために、皆様にご協力いただける事業実行の目途が立てば、その効果を見極める必要があるが、必要な予算について増額を検討していきたい。

※このほかに「五条川健康ロードの除草対策について」の質問も行った。



堀 巖 議員

### 消防署においてハラスメント窓口相談があった件について副市長及び消防長に問う

Q

11月15日に副市長から消防署長宛ての「職場環境の是正について」という文書が発出された。今後の職場環境の改善を求め、その期限が令和4年3月末となっている。消防署がこの文書を受け取り、消防署の公文書として受け付けたのが12月8日である。全体的に、迅速性、スピード感を持って対処できていないのではないかと。文書を1カ月近く、受け付けせずに放置することは事務上あり得るのか。

A

ヒアリングが遅れた事実はある。また、文書を放置しておく

Q

### 不当要求行為対策要綱の条例化を

### A 他の自治体を参考に検討する

これは通常の受付業務ではあり得ない。

Q

文書の中に「下位職員にとつてはハラスメントと受け取られる場面もありました」と記述がある。こういった場面がハラスメントと受け取られるものだったのか。

A

職員の人事に関する情報であることから、答えを差し控える。

Q

厚生労働省が6類型に分けているハラスメントのうち、「隔離・仲間外し・無視・人間関係からの切り離し」や「個の侵害」に当たる行為があったのではないかと。

A

具体的な答えは差し控える。

Q

消防長は、相談者がハラスメント窓口である秘書企画課に相談を申し出る前に、令和3年8月4日に消防長メッセージを職場に出している。その中で、「他者に対する発言・行動等が本人の意図には関係なく、相手を不快にさせたり、尊厳を傷つけたりするその言動がハラスメント」であるとし、これまで実施した面談で、ハラスメントを感じ、精神的に大きな負担を抱いて日々を過ごしている職員の声を聴いているとハラスメントの存在を認めている。どんな声を聴き、ハラスメントが職員の大きな精神的負担となっていると感じたのか。

A

面談をする中で大きなことはなかった

Q

消防長は、相談者がハラスメント窓口である秘書企画課に相談を申し出る前に、令和3年8月4日に消防長メッセージを職場に出している。その中で、「他者に対する発言・行動等が本人の意図には関係なく、相手を不快にさせたり、尊厳を傷つけたりするその言動がハラスメント」であるとし、これまで実施した面談で、ハラスメントを感じ、精神的に大きな負担を抱いて日々を過ごしている職員の声を聴いているとハラスメントの存在を認めている。どんな声を聴き、ハラスメントが職員の大きな精神的負担となっていると感じたのか。

A

面談をする中で大きなことはなかった

Q

顧客から出されるクレームは重要な情報、大切な財産であるが、今回のように時として度を越え、個人的に引いては組織全体にとつてもない負荷、ストレスを与えることになる。どのような線引きをしているのか。

A

拘束力がないのは、そのとおり。条例化については、他の自治体を参考に検討していく。

意見

是非早急に条例化していただきたい。今回、市職員を守る相談窓口の体制が脆弱であり、ほとんど機能していないことがわかった。職員の中には色々なハラスメントの悩みを抱えながら従

事している人が沢山いると思う。職員が個々の能力を発揮して、働きがいや希望を持って職務に邁進できる環境を一刻も早く整備していただきたい。辞めていきたい奴は辞めていけばいいんだというものではない。研修を受け、岩倉市の財産が失われることは、福祉の低下である。泉大津市の南出市長のワクチン接種のこ

Q

市が定める岩倉市不当要求行為対策要綱は単なる内部規律であり、第三者に対する拘束力はないと考えるがどうか。条例化し、法令としての効力を持たせるべきではないか。

A

拘束力がないのは、そのとおり。条例化については、他の自治体を参考に検討していく。

意見

是非早急に条例化していただきたい。今回、市職員を守る相談窓口の体制が脆弱であり、ほとんど機能していないことがわかった。職員の中には色々なハラスメントの悩みを抱えながら従



日本共産党岩倉市議員  
木村冬樹議員

## Q 無料低額診療事業を紹介しているか

### A 紹介した事例はあり、事業の周知に努める

**外国人住民の健康を  
守ろう**

**Q** 社会福祉法に基づき、生計困難者が経済的理由で必要な医療を受ける機会を制限されないように、無料または低額な料金で診療を行う無料低額診療事業があり、近隣では一宮市の千秋病院が2018年11月から実施している。千秋病院では、昨年12月までに延べ72人が事業を利用し、そのうち9人が外国人であったが、入管収容を仮放免となっている方が多く、すべて健康保険未加入だった。健康保険未加入の外国人の場合、医療費の全額を医療機関が負担しなければならず、経営面を考えると、使命感だけではとてもできないというのが正直なところである。それでも、治療をぎりぎりまで我慢して重症化しないように、無料低額診療事業を一時的に利用し、社会保障制度につなぐ入口にしていく

必要がある。外国人サポート窓口などでの医療相談に対して無料低額診療事業の紹介は行われているのか。

**A** 情報提供を行った事例はある。相談に関わる職員の情報共有や知識の向上を図るとともに、事業の周知に努めていく。

**Q** 昨年12月、静岡県で訓練飛行中だった航空自衛隊小牧基地所属のC130輸送機がエンジントラブルのため県営名古屋空港に緊急着陸した。C130輸送機は四つのエンジンのうち一つをいったん停止し再始動する訓練をしており、停止したエンジンが始動できなかったものが見られている。小牧基地所属のC130輸送機が岩倉上空を低空飛行している様子をよく目

にするが、今回のような小牧基地におけるトラブルは近隣市町に連絡が入るのか。

**A** 愛知県航空空港課に確認したところ、東海防衛支局から県を通じて名古屋市、春日井市、小牧市、豊山町に情報提供されることになっており、今回の件も情報提供されている。

**Q** スマートIC整備は必要か

**A** スマートインターチェンジ整備については、昨年9月定例会で、一宮市、江南市、岩倉市の3市長の合意に温度差はないと答弁されたが、次の12月定例会では江南市から不参加の表明があったと答弁された。わずか3カ月の間に何があったのか。江南市不参加の理由を教えてください。

**A** 今後、複数の大型事業を進めていく予定がある江南市の財政事情を考えると、スマートインターチェンジ整備の費用負担は困難であるため不参加を表明された。

**Q** 単純に言って、岩倉市の地元負担が3分の1から2分の1に膨れ上がることになる。現時点での国・県・一宮市との協議はどこまで進んでいるのか。また、令和5年度以降の予算の検討はどうなっているのか。

**A** 一宮市とは今後の進め方等について協議しており、国・県には整備にあたっての留意点の聞き取りを行っている。予算については、設置箇所によって大きく変わってくる。

**Q** 昨年8月から、低所得の介護施設入所者やショートステイ利用者の食費・居住費を補助する補足給付が見直され、預貯金の額により補足給付の対象外となる利用者が発生し、所得段階に応じて食費の負担が増えている。全日本民主医療機関連合会の影響調査では、入所施設で約半数、ショートステイで9割弱の利用者の負担が増えたことが分かり、月7万円近い負担増になる事例もあった。あえて低所得者を標的にし、コロナ禍で強行したという二重の意味で到底容認できない制度改悪である。岩倉市では、どのような影響が出ているのか。

**A** 預貯金の額により対象外になった方は8人。負担増については理解を得ており、サービスを利用できなくなった方もいない。

**必要な介護サービスの提供を**



大黒川 志クラ 武議員

### 中小企業の生産性向上と賃金引き上げは重要

行えるようビジネスサポートセンターの運営支援に努めたい。

## A 国の助成制度への手続の運営支援に努めたい

### Q 賃上げを助成してはどうか

国や県の支援制度につなげたり、外部の専門家を派遣したりするなど適切に対応したい。

Q 日本の給与所得の平均年収は、平成9年の467万円が、令和2年は433万円で、34万円の減収である。GDP(国内総生産)もここ30年間横ばいで低迷している。賃金の引き上げが最も重要な課題。厚生労働省の「業務改善助成金」と同じ考え方で、最低賃金の時給を引き上げて生産性の向上に取り組む市内の中小企業・小規模企業に対し、「生産性向上助成金」を市が助成してはどうか。

### Q これからの企業戦略をどう考えるのか

本格的な人口の減少、少子高齢化の時代に突入する。人が減ることは消費や需要が減ること。企業戦略はどうあるべきか。気候変動と脱炭素、SDGsの取組、企業の統合の課題がある。どのように考えるのか。

### Q これからの観光戦略をどう考えるのか

ウィズコロナ、ポストコロナの時期がやがて来るとの前提で、観光戦略が求められる。五条川下流部の桜並木は青年期を迎えており、下流部にボートやカヌーを浮かべて、川から桜を観る工夫とか、観光には「自然、気候、文化、食」の4つの条件を満たすことが魅力となる。バーベキュー広場を下流部に設け、第2のお祭り広場にしてはどうか。観光産業の付加価値を高め、生産性を向上させて稼ぐこと。それ

A これからの観光戦略を考えると、少人数で散策し、見たり、触れたりできる体験型の観光も重要になってくる。これまでもNPO法人いわくら観光振興会や民間の旅行会社と連携し、少人数で参加のツアーを開催している。新たな観光資源の発掘に努める。

### Q 広域的な観光戦略を考へてはどうか

近隣の自治体と広域的な観光戦略を考へてはどうか。

### Q リカレント教育で、IT・デジタル化に対応

これからの時代は、人への投資、IT・デジタル化へ大きく変わろうとしている。対応するために、現役の働き手の方々に再教育や人材育成トレーニングが求めら

が回り回って税収につながる。観光戦略をどう考へるのか。

A これからの観光戦略を考えると、少人数で散策し、見たり、触れたりできる体験型の観光も重要になってくる。これまでもNPO法人いわくら観光振興会や民間の旅行会社と連携し、少人数で参加のツアーを開催している。新たな観光資源の発掘に努める。

### Q これからの時代は、人への投資、IT・デジタル化へ大きく変わる

これからの時代は、人への投資、IT・デジタル化へ大きく変わろうとしている。対応するために、現役の働き手の方々に再教育や人材育成トレーニングが求めら

A 中小企業等で働く方々への支援として、公的支援制度や大学が行う講座を紹介している。生涯学習講座や図書館の図書を充実するなど支援に努める。

(※)リカレント教育とは、社会人となった後も教育機関や社会人向け講座で学び直すこと。

A 中小企業等の生産性向上と賃金引き上げは重要なこと。市独自の助成制度ではなく、国の助成制度への手続が

A 性の向上と賃金引き上げは重要なこと。市独自の助成制度ではなく、国の助成制度への手続が

A 性の向上と賃金引き上げは重要なこと。市独自の助成制度ではなく、国の助成制度への手続が

A 性の向上と賃金引き上げは重要なこと。市独自の助成制度ではなく、国の助成制度への手続が

A 性の向上と賃金引き上げは重要なこと。市独自の助成制度ではなく、国の助成制度への手続が

A 性の向上と賃金引き上げは重要なこと。市独自の助成制度ではなく、国の助成制度への手続が



創 政 会  
井上真砂美議員

## Q 五条川小学校区統合保育園構想は

### A 地域の皆様に愛される園にしていく

**Q** 園の安全・管理面で、出入口で顔認証システム導入や園児の出欠席情報管理に、ITを利用するなどを一例として、IT化による効率化を図ってはどうか。

**A** 保育園のIT化については、園の運

**Q** 建設候補地域を井上町が最適であるという案を示しているが詳細な場所は未定である。令和4年度中に用地交渉を行っていく。詳細な場所が決定した後には、周辺の道路状況や交通事情を考慮する。地域のご意見を聞き、関係部署と協力して安全に利用できる施設となるように設計の段階で、園舎や駐車場の位置等について考える。

**Q** 園児が木の下で泥んこ遊びをしたり虫を捕まえたりと園児に自然の恵みをたっぷり注いでくれた。しかし、現在の木の状態は、表皮がほとんどはがれ、幹の中に雨水が入ってきている。移植しても根

**Q** 北部保育園卒園児の思い出のシンボルツリー「すずかけ」をどのような形で残せるか。

**A** 「健康二次被害」  
新型コロナウイルスの影響で外出を控えた結果、運動不足になる人が増えている。会話が減り、心身の健康度が悪化している。



**Q** 「オンラインマラソン」の目的と、コロナ禍の健康づくりは。

**A** 「オンラインマラソン」は、コロナ

**Q** 「健康二次被害」  
新型コロナウイルスの影響で外出を控えた結果、運動不足になる人が増えている。会話が減り、心身の健康度が悪化している。

**「健康二次被害」対策**  
「健康二次被害」  
新型コロナウイルスの影響で外出を控えた結果、運動不足になる人が増えている。会話が減り、心身の健康度が悪化している。

**Q** 「オンラインマラソン」は、コロナ禍の健康づくりは。

**A** 「オンラインマラソン」は、コロナ禍の健康づくりは。

**Q** 児童生徒の出欠席確認について、ITを利用して教員の負担軽減ができないか。

**Q** 児童生徒の出欠席確認について、ITを利用して教員の負担軽減ができないか。

**小学校の教科担任制と保護者及び学校の負担軽減→IT化**  
小学校の教科担任制と保護者及び学校の負担軽減→IT化

**Q** 本市では、5・6年生を中心に外国語

**Q** 教科担任制の現状と今後の方向性は。

**Q** 教科担任制の現状と今後の方向性は。

**Q** 教科担任制の現状と今後の方向性は。



党員 議員 敬子 明子 公谷 平

Q

災害用授乳服を災害用備蓄品に！

A 有効な災害用品として検討する

総合体育文化センターに設置してはどうか。

ラウンジについては、コンサート等のイベント開催時に、受付場所やスタッフ用のスペースとして利用される。また、2階には、会議室や研修室もあり、音が届いてしまい、この場所にピアノを常設することは難しいと考える。しかしながら、音楽を通じて人と人とのつながりを生み出すことについては、ストリートピアノに限らず多様な手法を今後も模索していく。

マイナンバーカード

Q マイナンバーカードの普及割合は。

A 人口に対する交付率は41%。

Q 申請サポートの内容と新たな取組は。

A 市民窓口課で、タブレット端末を使用し、申請に必要な写真撮影やインターネット申請を職員が支援している。令和4年度は、申請時の来庁のみで手元にマイナンバーカードが届く「申請時来庁方式」を導入する予定。また、公共施設等で出張支援窓口を設置しさらなるサポートに努める。

Q マイナポイント事業に伴う市の取組はどうか。

A 市役所1階の窓口において、マイキーIDの設定支援及びマイナポイント予約手続の支援を行っている。マイナンバーカードの健康保険証としての利用や公金受取口座の登録が始まる時期に合わせて広報等で周知を行う。

Q 今後の「スマホ講座」の取組は、どうか。

A さくらの家での開催に加え、南部老人憩の家でも新たに開催を考えている。

女性の視点による防災対策について

女性の視点を防災対策に生かすことは、子どもや高齢者などの社会的弱者の視点を生かすこととあり、地域の防災力の向上につながる。

Q 自主防災組織の現状と課題は。

A 毎年岩倉市防災訓練または各小学校区での自主防災会地域合同訓練の実施を計画している。また、行政としても効果的な訓練になるよう支援をしている。課題としては、新型コロナウイルス感染拡大のため、各地域の防災訓練を中止する状況も多く、地域の防災力や防災意識の低下の心配がある。市としても感染症対策を踏まえた避難所の運営方法等について知識を深めていただけよう、参考となる資料を提供するなど代替手段による防災体制の強化に取り組んでいる。

Q 必要なが多くある。女性の視点が生かされた避難所運営になっているか。

A 今後も、過去の大规模災害で実際に起こった困り事等を教訓としつつ、避難所運営等の防災対策に女性の視点を取り入れるよう努める。

Q 災害用授乳服を災害備蓄品に。

A 災害時に乳幼児を抱える世帯にとって避難生活は、より周りの方の目を気にして心理的にも負担がかかることが想定される。今後、整備について検討する。

Q 高齢者のスマホ講座参加人数と感想。

A 「スマホ講座」を4回開催し、合わせて40人の参加があった。感想は、初めてスマートフォンに触れた人では少し難しかったといった意見もあったが、多くが講座の内容がとても分かりやすく良かったと大変好評であった。

Q 防災会議における女性委員の割合は。

A 20人中3人で、15%である。

Q 避難生活を送る上で、女性には、配慮

ストリートピアノの設置について





水野忠三議員

# Q 今後のデジタル化のさらなる推進は

## A デジタル格差にも留意し、推進していきたい

**公共の安全の確保及び市民の不安の緩和について問う**  
**小学校での教科担任制について問う**

**Q** 団体規制法に基づく観察処分を受けている団体の関連施設が市内に存在するとの報道等があるが、現状認識は。

**A** 当該施設が市内に所在し、活動していることを把握している。公安調査庁より施設に立入検査を行った旨の情報提供があった。これまで、近隣住民とのトラブル等はないが、何かあれば協働安全課に連絡・相談していただきたい。

**Q** 経営・制度面や指導面における教科担任制の課題と対策は。

**A** 経営・制度面での課題としては、専門性の高い教科指導が行える教員の養成や専科指導教員を増員していくことが必要となる。また、指導面においては、これまで行ってきた学級担任制による一人一人に応じたきめ細やかな指導をするために、教員間で十分な連携を図り、子どもたちに関わっていくことが必要となる。

**Q** 公安調査庁が地域の住民との意見交換会の開催の意向などを有する場合、会場の提供など、協力・サポートはできるか。

**A** 開催状況に応じて、会場の提供など、できる限りの協力・サポートをしていく。

**Q** 自治体や学校の裁量等も踏まえて、今後の本市における「あるべき姿」は。

**A** 学校の職員構成や規模に応じて、工夫しながら取り組んでいく。今後、県からの専科教員の配置と併せて学校で工夫をしながら、教科

担任制を進めていきたい。また、国や県に対しては、担任以外の加配教員の配置など、新たな定数措置がされるよう働きかけていきたい。

**公共施設等適正管理推進事業債について問う**

**Q** 政府は発行できる期間を5年間延長する方針を明らかにしたが、理由・背景等をどのように理解しているか。

**A** 人口減少や少子高齢化の進展に加え、新型コロナウイルス感染症の影響による税収の減少等により、各自治体の財政運営は厳しさを増している。しかしながら、公共施設の改修や更新等を計画的に進めていくためには、多額の財源を要し、長期にわたって財政需要が生じるものになる。このようなことから、今後

**Q** 財源調達のため、「公共施設等適正管理推進事業債」をさらに活用すべきと考えるが、見解は。

**A** 公共施設等適正管理推進事業債を含め市債は、必要不可欠な財源調達方法である。市債の発行にあたっては、将来世代への過度の負担とならないよう、必要性を判断するとともに、普通交付税の基準財政需要額に算定されるかどうかなどを考慮した上で、本市にとって最もメリットのある市債を活用していきたい。

**Q** 地域の課題解決やデジタル技術をさらに積極的に活用する姿勢が

**デジタル化の推進等について問う**

**Q** 魅力向上などにデジタル技術をさらに積極的に活用する姿勢が

求められていると考えられるが、見解は。

**A** 多様な価値観やライフスタイルに対応するため、デジタル技術の積極的な活用が進み、利便性の高い魅力ある社会が実感できるように。一方で、デジタルに不慣れな人に対して、デジタル格差をなくしていくための取組が必要であると考えている。本市では、デジタル格差の解消のために令和4年度の市民活動助成金事業の「行政提案・協働事業コース」を活用して「デジタル教室」の実施を募集したところ、パソコン等を使った活動を得意とする一つの市民活動団体から提案があった。市民活動助成金審査会の審査の結果、採択とされたので、今後、課題解決に向けた協働の取組として進めていきたい。





大志クラブ 議員  
大野 慎治

### 東町休憩所公衆トイレについて

**Q** 東町休憩所公衆トイレは階段部等のアプローチ部分の土間塗装が剥がれている状態であるため、利用者がつまづく危険性がある。また、トイレ内部の土間の塗装も剥がれている状態であり、壁面も汚れがひどくクリーニング等が必要である。壁面下部のコンクリートも剥がれ落ちている状態であるため、公衆トイレのリフォーム等が必要ではないか。



東町休憩所公衆トイレ

### Q

東町休憩所公衆トイレはリフォームが必要ではないか

### A 検討していきたい

**A** 費用対効果を踏まえ、どういった方法が良いか業者とも相談し、検討していきたい。

### 桜まつりにおける露天商・屋台について

**Q** 露天商・屋台から道路占用料を徴収しているのか、それとも減免しているのか。

**A** 露天商の出店も桜まつりの一部であることから、減免しているが、環境協力金として徴収し、桜まつり全体の予算の歳入として計上している。

**Q** 桜まつり期間中の露天商・屋台の売り上げを考えれば、桜まつり期間中の道路占用料を引き上げて徴収するべきではないか。また、本市

では岩倉市さくら基金条例を制定している。露天商・屋台を設置する際は五条川堤防に単管等を打ち込んで固定することで、桜の根に多大な影響があるため、露天商・屋台から桜育成協力費としても徴収するべきではないか。

**A** 将来に向けた桜保全の財源確保は大切なことだと考えている。

**Q** 将来に向けた桜保全の財源確保は大切なことだと考えている。

**A** 道路占用料を一時的に引き上げるといった手法も一つであるが、道路占用料をさくら基金に積み立てることは、目的に反し、一時的な引き上げはハードルが高い。桜の魅力とその保全活動の大切さ、保全には多くの費用が必要なることを知っていたら、き、ふるさと納税や寄付につながる仕掛けを検討していきたい。

**Q** 桜まつりには、160軒の露天商・屋台が出店している。ウイズコロナを見据えて、感染対策として、観光客等の密集を避けるためにも露天商・屋台等の出店数を半数の80軒程度に抑制・見直すべきではないか。

**A** 露天商・屋台に限らず、お祭り広場や東町休憩所の出店、休憩スペースにおいても、多くの来場者があるため、密な状態であることは認識している。今後、ウイズコロナを見据えて、桜まつり全体の見直し等について検討していきたい。



### ふるさと納税電子感謝券について

**Q** 愛知県内では蒲郡市が既に実施している。犬山市も令和4年度から実施に向けて準備を始めている。岐阜県では高山市、下呂市、三重県では桑名市、鳥羽市が実施している。電子感謝券を導入している自治体数は。

**A** 全国102の自治体で導入している。電子感謝券は、ふるさと納税による歳入確保に向けた取組の一つとして有効であり、

**Q** 電子感謝券は、ふるさと納税による歳入確保に向けた取組の一つとして有効であり、

ウイズコロナを見据えて、市外の方が本市を訪れるきっかけを作ることができると、返礼品がない飲食店・商店等市全体がふるさと納税の恩恵を受けることができるため、本市においても電子感謝券を利用できるようにするべきではないか。

**A** 市内事業者のご意見を聞き、先進自治体の状況を踏まえ、研究していきたい。

### 自治体活動のデジタル化について

**Q** 県内では犬山市と豊川市が取り組んでいる地域ICTプラットフォーム「結ネット」のアプリを活用したデジタル町内会・電子回覧板を導入する考えはあるか。

**A** 先進的な自治体を見たい。※そのほか、投票率向上の取組について質問した。



創政 議員  
関戸郁文

AIドリルも活用すること、一人一人の学力に応じた学習が進められたり、学習の蓄積によって、苦手な分野を補ったり、よりレベルの高い

## Q デジタル社会を見据えた学校教育とは

### A デジタルを道具として主体的に活用できる



**Q** 児童生徒の学習履歴の蓄積の現状は、一人一台タブレットが導入されて1

**A** 年になる。子どもたちはAIドリルも活用すること、一人一人の学力に応じた学習が進められたり、学習の蓄積によって、苦手な分野を補ったり、よりレベルの高い

**Q** 教育データの蓄積の現状は、学校では、校務支援ソフトを活用し、業で用いるアプリの児童生徒情報、出欠の状況、健康に関する情報、学習に関する情報など、適切に管理をしている。中学校へ入学する際のデータの移行もスムーズになされている。

**A** 課題を進めたりするなど、効果的に用いることができる。また、授業で用いるアプリの中には、個々の学びを写真や文章、動画などで保存し、蓄積できるものもある。蓄積した学習データを再編集して、単元のまとめを作成することもできる。タブレットは学年とともに持ち上がるため、学習データも学年ごとに蓄積されていく。昨年度の自分と、今の自分を比較することもできるようになり、自分自身の成長を実感することが可能になる。蓄積されたデータが有効に活用できるよう、見直しを持った計画的な授業展開が重要となると考えている。



**Q** デジタル社会を見据えた学校教育の在り方を教育長に問う。

**A** 最先端技術を活用した様々な実証実験が行われていることを承知している。例えば、グループ学習の発話内容をリアルタイムで文字化する技術の活用では、これまで教師はグループごとの学びを表情などから読み取るしか

なかつたが、この技術を導入すれば、内容がすべて手元で分かるようになり、よりの確な支援に役立てることができる。また、発話内容を見える化することは、学習者にとっても自らの学びを振り返ることにつながり、メタ認知力や自己調整力の育成に役立つ。さ

らに、やがては、教師と子どもたちには、コンピュータ学習者の発話傾向をAIが解析し、教師がどのような働きかけをすればより深い学びが生まれるかをサポートしてくれるようになるかもしれない。このような、ビッグデータを活用した教育方法等の進展には、機会があれば積極的に関与していくべきと

思っている。不用意な情報発信が不利益を招くこともあるという認識の下、セキュリティ意識も高める必要がある。また、教育のデジタル化全般に話を広げれば、一人一台端末という環境によって、世界中から知識を集めたり、オンラインで実社会とつながったり、AIドリルや動画教材を利用したりするなど、学習者が自らのニーズに合った個別最適な学習環境を手に入れることができるようになった。

に、やがては、教師と子どもたちには、コンピュータ学習者の発話傾向をAIが解析し、教師がどのような働きかけをすればより深い学びが生まれるかをサポートしてくれるようになるかもしれない。このような、ビッグデータを活用した教育方法等の進展には、機会があれば積極的に関与していくべきと

思っている。不用意な情報発信が不利益を招くこともあるという認識の下、セキュリティ意識も高める必要がある。また、教育のデジタル化全般に話を広げれば、一人一台端末という環境によって、世界中から知識を集めたり、オンラインで実社会とつながったり、AIドリルや動画教材を利用したりするなど、学習者が自らのニーズに合った個別最適な学習環境を手に入れることができるようになった。

に、やがては、教師と子どもたちには、コンピュータ学習者の発話傾向をAIが解析し、教師がどのような働きかけをすればより深い学びが生まれるかをサポートしてくれるようになるかもしれない。このような、ビッグデータを活用した教育方法等の進展には、機会があれば積極的に関与していくべきと

思っている。不用意な情報発信が不利益を招くこともあるという認識の下、セキュリティ意識も高める必要がある。また、教育のデジタル化全般に話を広げれば、一人一台端末という環境によって、世界中から知識を集めたり、オンラインで実社会とつながったり、AIドリルや動画教材を利用したりするなど、学習者が自らのニーズに合った個別最適な学習環境を手に入れることができるようになった。



# 令和4年度予算について 市民の皆さんのご意見を 募集しました!!!

今回は、令和4年度予算から事業をピックアップして、それらについてホームページを活用して意見募集を行いました。

いただいたご意見は、3月定例会の財務常任委員会における新年度予算の議案審査で質疑に反映させていただきました。

## 意見をもとに委員会審査で質疑を実施

### ●市制50周年記念事業

**Q** 一過性のものであれば、無理にイベントを行う必要がないのでは。毎年開催できるような事業を行うべきではないか。



**A** 「市民の夢 協えるプロジェクト」は、多くの市民、団体からの提案を受け、審査会において、まちづくりの発展性があるかなどを審査しており、一過性のものと考えていない。

特に、委託事業コースについては、団体等が実施したい内容を募集し、規模の大小はあるが、事業終了後も継続した取組が実施されると考えている。

### ●五条川小学校区統合保育園整備事業

**Q** 愛知県が実施している子育て支援員の研修を岩倉市でも開催することはできないか。

**A** 愛知県において実施されている研修は、専門の業者に委託して実施されているものであり、個別に岩倉市で実施することは難しい。

## ●桜並木保全事業

Q 五条川には桜以外の樹木もあるが、そういった樹木の所有者をはっきりさせ、計画的に植え替えを実施すべきではないか。



A 桜以外の樹木の所有者は把握できていないが、桜については、五条川桜並木保存会の皆さんと協力して管理している。計画的に植え替えを行う方法もあるが、樹木の状態が急変することもあり、保存会の立会い、樹木医の診断をもとに植え替えの判断をしていく。

## ●名神高速道路スマートインターチェンジ設置検討事業

Q 検討事業に1500万円かけるのは市民感覚では理解できない。中止することがあるのか。委託せずに市で行うことはできないのか。検討事業を行うのであれば、必ず実現するという確信を持って進めるべき。

A 検討事業にあたっては、専門知識が必要で業者への委託が不可欠である。検討の結果、中止になる可能性はゼロではないが、設置のメリットは非常に大きいと考えるため、実現に向け努めていきたい。

## ●(仮称)にぎわい広場整備基本構想策定事業

Q 現状把握や構想だけで800万円という費用は高額ではないか。今やるべき事業ではないのではないか。



A 現状把握や情報収集、分析に専門知識が必要であり、専門業者への委託が必要。職員でできることは行い、少しでも費用が抑えられるように取り組んでいきたい。

この事業は、令和2年度に改訂された都市計画マスタープランの中で、にぎわい拠点の形成を図るという方針が示されている。その方針に基づいて、整備をしていこうと考えている。



# お知らせ



## 次回、6月定例会のご案内～議会の生の声を傍聴してみませんか～

次回6月定例会は下記のとおり開催いたします。(日程は都合により変更となる場合があります。)  
市議会はどなたでも傍聴できます。

(岩倉市議会事務局 TEL:0587-38-5820 FAX:0587-66-0055)

本会議:市役所8階 議場 / 委員会:市役所7階 委員会室にて 午前10時から

月	火	水	木	金
			6/2 本会議 (議案の上程・説明)	3
6 本会議 (議案質疑)	7 委員会 (総務・産業建設)	8 委員会 (厚生・文教)	9 委員会 (財務)	10 本会議 (一般質問)
13 本会議 (一般質問)	14 本会議 (一般質問)	15 委員会予備日	16 委員会予備日	17 委員会予備日
20 委員会予備日	21 本会議 (委員長報告、質疑、 討論、採決)			

※紙面の都合により、土曜日及び日曜日は省略して掲載しています。

5月臨時会は、5月11日から13日の期間で開催されます。

## 表紙の写真を募集しています

岩倉市議会では、市議会だよりの表紙として皆様が撮影した写真を募集しています。写真のテーマは「岩倉らしさ、岩倉への愛着が感じられる写真」です。皆様の応募をお待ちしています。

### 【応募方法】

- ◆住所、氏名、電話番号、撮影日、撮影場所および写真に添える説明文を記入の上、直接お持ちいただくか、郵送もしくはメールで応募してください。
- ◆写真の審査は議会広報委員会で行います。応募いただいた写真は返却できかねますのでご了承ください。

【郵送先】〒482-8686 岩倉市栄町一丁目66番地 岩倉市議会事務局

【メール】gikai@city.iwakura.lg.jp



### 議会広報委員会 (◎は委員長 ○は副委員長)

◎木村冬樹 ○片岡健一郎 ・谷平敬子 ・水野忠三 ・大野慎治 ・井上真砂美 ・堀 巖